



“ぎまままに”  
川柳

今月のお題  
初夢

初夢で くじ当たったよ 正夢に ジョージ	十億を 当てた夢見て 転げ落ち 森本千代美	初夢で 登ってみたい 富士の山 ラン	初夢も 忘れないよう メモにとる 林洋子	初夢を 話して広がる 初笑顔 リトルカレー	富士に鷹 茄子まで出ても くじは凶 おみくじ大好きっ子	初夢に みたもの忘れ 初笑い おりべびよ子	一騎討ち 嫁のいびきと 俺の夢 早乙女勇樹
-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	--------------------------------

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネームを明記し、直接または郵送、Eメールで広報広聴係へ。  
 〒509-5192 (住所不要)   ✉ koho@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111 (内線185) / FAX 7763  
 ※応募多数の場合は採用されないことがあります。

わたしの  
**ほやねさん**

「ほやねさん」とは…  
 つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

畑作り3年目を迎える私にとってのほやねさんは、93歳になる畑作りの先生です。先生の作る四季折々の野菜は本当に見事で、収穫の時期が来ると感嘆の声が思わず上がるほど。「葉物はのお、毎日世話せんとあかんに」「玉ねぎやイモ類は、まだ放っといてもええけどな」など大事なことを聞いたとき、私はその日の日誌に書き留めカラーペンで囲んでいます。

収穫する野菜の種類も少しずつ増え、ほやねさんとの会話も弾んで、畑にいるのが楽しみになってきた私。採れたての野菜を喜んで食べてくれる家族の様子を見ることが、畑作りの次なる意欲につながっています。私のほやねさんは、何十年の間ずっとそんな歳月を送り続けているのでしょうか。最近では「ひ孫が喜んで食べてくれとる」と、とてもうれしそうに話してくれます。なかなか畑に行けない私に、「慌てんでもええよ。ちゃんと育ててくれる」と温かく励ましてくれます。小柄で少し耳は遠いけれど、いつもにこにこして笑顔がすてきなおばあちゃんです。家から畑までの道は平坦ではないのですが、肥料や収穫した物を小型カートに載せ、引っぱりながら一日に何度となく往復しています。次に何をやらいいのかを考えては、畑にドカッと座って「考えたことをまた忘れてしまったわ、アッハッハ!!」と笑い飛ばしています。

私は今日も元気をいっぱいもらって畑作りを頑張っています。私のほやねさん、これからもよろしくね。

ペンネーム だんごむし (駄知町)

## 募集

掲載の「わたしのほやねさん」ストーリーの他、市内に実在する「まちのほやねさん」を募集します。あなたがこれまでに出会ったほやねさんを400字程度の紹介文と一緒にお寄せください。

**■応募方法**  
 住所・氏名またはペンネーム・電話番号を明記し、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へ。  
 〒509-5192 (住所不要)   ✉ machisui@city.toki.lg.jp  
 ☎ 1111 (内線186) / FAX 7763